

職場の声を集め、要求し交渉し改善求めよう！ 全国統一行動、つながり支えあう仲間を増やそう



第589号

発行所
自治労連愛媛県本部
松山市三番町8丁目10-2
電話(089)931-7312
FAX(089)933-1699
jehime@sage.ocn.ne.jp
発行人 森賀 俊二
編集人 和氣 伸二
(組合員の個人情報は組合員
のみに含まれています)

日程

- 【2月】
 - 28 自治労連青年部全国委員会・平和学習会(松山)
- 【3月】
 - 3 全労連四国総行動(香川)
 - 4 医療三単産「国会議員要請・意思統一集会」(東京)
 - 5 春闘中央行動・四国ブロック総務省要請(東京)
 - 6 全国代表者会議(東京)
 - 7 本部都市職・町村職部会全国交流集会(山口〜8)
 - 8 地域医療と公立病院の充実を求める学習・意思統一集会(本部・web併用)
 - 9 医療関係府省要請・団体懇談(東京)
 - 11 福島原発事故15年目集会デモ(城山公園)
 - 12 自治労連全国統一行動
 - 13 重税反対統一行動
 - 14 県本部拡大執行委員会
- 【4月】
 - 11 県本部拡大執行委員会
- 【5月】
 - 1 第97回メーデー
 - 3 愛媛憲法集会



《県本部中央委員会》



県本部は2月14日、「26中央委員会」に17組35人が参加。和氣書記長が、「秋季年末の活動経過と到達、〇中間決算を報告。森賀委員長が、

〇議案第1号「春闘」夏季の要求実現、単組活性化・組合加入・共済加入推進」、〇議案第2号「県本部離職専従従業員の登録」4月1日付で力石浩介委員長(左写真)、取消し3月31日付で森賀俊二委員長」を提案。討論では14人が発言しました。(以下抜粋要約)



【今治】秋に人勸学習・職場懇談会、青年部バーベキューなど実施。執行委員会後に残業職場訪問しアンケートも実施。

【宇和島病院】12月会計年度調理員の組合説明会を開催し17人参加。組合に興味をもった人が多数おり、加入につなげた。当局の処遇改善案も説明し「もっと早ければ離職が防げた」の声があった。



【新居浜文体】非正規共全国交流集会に参加。全国の運動で会計年度職員3の年公募廃止や勤勉手当支給が前進。愛媛で仲間を増やしたい。職場で声かけをお願いする。

【内子】今年度初めて会計年度職員1人が組合加入。さらに加入よびかけ、正規には見えない職場課題の解決につなげたい。秋の職場オルグに100人以上の参加があり、意見を聞いた。【西予】財政危機による給与カット提案とたたかってきた。



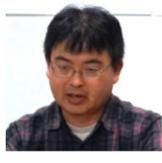
【松山】R6年度から3年連続で現業正規採用を実現できた。近い将来現業職場がなくなる組合員の危機感、災害対応・ふれあい収集などへ市民からの感謝がチカラになった。

【西予医療介護】分限免職処分の異議申立は、2月4日公平委員会裁決で棄却されたが、裁決書に請求人と組合の主張が反映され、市への厳しい指摘・要望が盛り込まれ、組合の要求と意見が一定認められたと感ずる。3月に報告会を開催し、今後の対応を相談する。



【東温】市財政は経常収支比率98%で厳しく、来年度予算編成で30億円削減が強調された。新年度予算を分析し、組合で要求していききたい。【市町村共済議員】今年秋2年任期の共済議員選挙がある。自治労連推薦議員(現在7人中6人)の確保に協力をお願いする。

【和氣書記長】日本プロ野球労組の話からも「やっぱり、いまそ労働組合」と役割発揮が求められる時期。この時期に内子町を退職して県本部専従役員となる力石さんに期待する。【力石副委員長】県本部と自治労連本部では主に青年部で活動し、内子町職員も経験し、10年程前から組合専従でがんばってみたいという気持ちを感じていた。気を引き締め、あらためて組合活動をがんばりたい。自治体も財政が厳しくなっている。平常時は楽しく交流し学習することが、非常時にたたく力になると感じている。



市公平委員会の口頭審理に臨む
請求人代表 (2025年12月)

【西予市長宛ての「要望書」を提出】

2月4日、西予市公平委員会は、2025年3月31日付の分限免職処分(市正規職員191人)に対し、110人が異議申し立てした審査請求について「裁決書」を送付しました。結果として、請求人の審査請求を「棄却する」との「主文および結論」となりました。

一方、「裁決書」の「理由」におよび付言で「①労働使間の信頼関係において課題を残したと言わざるを得ない。②職員の心情的な理解や納得を十分に得られないまま処分に至った点については、重く受け止める必要がある。③本裁決をもって本件の解決とするのではなく、新体制に移行した職員等の労働環境が適切に維持されるよう、指定管理者との連携・モニタリングを継続的に行うことを望む。④今後は、関係者へのより早期の情報提供と心情に配慮した丁寧な対話に努め、市民及び職員からの信頼確保に一層尽力されるよう強く要望する」など重要な指摘や要望が記述されています。

2月19日、この「裁決書」をふまえ、審査請求人を代表して、市長に要望書を提出しました。(要望書一部抜粋)

①「裁決書」では分限免職は、当該職員には責任がなく、「希望者全員の雇用継続」を公募条件とし、「実質的な雇用の維持」に向け努力したとき課題を残したと言わざるを得ない。②職員の心情的な理解や納得を十分に得られないまま処分に至った点については、重く受け止める必要がある。③本裁決をもって本件の解決とするのではなく、新体制に移行した職員等の労働環境が適切に維持されるよう、指定管理者との連携・モニタリングを継続的に行うことを望む。④今後は、関係者へのより早期の情報提供と心情に配慮した丁寧な対話に努め、市民及び職員からの信頼確保に一層尽力されるよう強く要望する」など重要な指摘や要望が記述されています。

後の医療介護スタッフ確保対策について考えをお聞かせください。

④「裁決書」では、西予市は「地方公営企業法の全部適用の本格的な検討は行っていなかった」事実を認め、「長期間外部有識者を交えず、主に市幹部のみで行われていたこと明らかにした」としています。「要望」これらの事実は、指定管理移行前に市が団体交渉等で主張した「指定管理者制度が最善の方策」とした見解と相違します。他制度の検討もなく、なぜ指定管理が最善と判断できたのか、貴職の見解をお聞かせください。

⑥「裁決書」で、市は給与の激変緩和措置として「5年間の現給保障」を制度化し、当面の給与水準を維持する対策を講じたこととされましたが、実際には、①賞与の支給月数が市水準より減、②賞与の支給計算に扶養手当が含まれていない、③臨時職員の現給保障は2年間しかない、など「当面の給与水準が維持される状況」になっていません。

【要望】公平委員会が「請求棄却」論拠の一つとした「当面の給与水準の維持」には、①②③等の回復・現給保障等が必要と考えますが、貴職の見解をお聞かせください。

【伊予】初夢抽選、職場懇談会実施 誰もが参加できる活動模索



伊予市職労は1月28日、執行委員会を開催し13人が参加。吉田委員長は「職場懇談会を執行部も参加しているが回数も多く、職場や組合への意見もあり運動に反映させたい」などあいさつ。「初夢大抽選会」の抽選を執行部がくじびきで実

【新居浜】婦人部「いちご狩り」に 大人・子どもも150人参加



新居浜市職労婦人部は1月24・25日、西条のひのいちご園にて「いちご狩り」を開催し、大人97人・子ども53人の合計150人が参加。大人も子どもも「家族みんなで楽しめました」「おいしかったですよ」「いちごみるくも作ったよ」と楽しめました。

【四国中央】親睦旅行に大人・子ども一緒に スキー・スノーボードで交流

四国中央市職労は1月24日、瑞穂ハイランドへ日帰り親睦旅行で20人がスキー・スノーボードに行きました。参加者より感想「当日は、子ども5人の参加もあり、吹雪にも負けずスキー・スノーボードを楽しみました。普段関わりの少ない職員や、子ども達との貴重な



《労安学習会》カスハラ事例・要因・心理的背景、 ロールプレイで実践的に学習



県本部は2月14日「カスハラ事例」をテーマに学習会を開催。学習会には12単組20人が参加。講師の清家かおるさん（臨床心理士・社会福祉士等）が講義とロールプレイ演習を行いました。講義は、①カスハラとは？、②自治体職員の35%が過去3年で経験、③被害内容の

製合（自短労連調査より）、④公務員にカスハラが起きやすい要因、⑤加害に至る心理的背景、⑥電話&窓口での具体的事例、⑦カスハラが職員に与える影響、⑧身を守る5つの多層防御など、わかりやすくレクチャー。その後30分間のロールプレイ後に講師が全員に感想を聞き「住民の人権も大事、自分・職員の人権も大事との視点で考え対応を」とアドバイスしました。

【西予】職場の声が要求となり改善が実現 災害復旧応援の歴史も継承



西予市職労保育部会は2月6日「懇親会&学習会」を開催し、保育士15人が参加。橋本書記長があいさつで、市が提案している「職員給与削減条例案」を職場の声と組合要求で変えたことを報告引き続き組合への団結と協力をよびかけました。

学習会では、和気県本部書記長が「人権・給与・休暇」「保育士配置基準改善の議会陳情」などを解説。県本部保育部会「保育実態調査」結果も共有し、各園状況も意見交換。また西日本豪雨災害後に岩手や県内の自治労連の仲間が来市し、被災した野村保育所の災害復旧ボランティアも紹介、被災当時を知らない保育士にも継承されました。

仲間を増やし、要求前進を 中央委員会で春闘方針決定



1月31日、愛媛労連は松山市で「中央委員会」を開催し46人が参加。「対話と学びあいで仲間を増やし、すべての労働者の大幅賃上げ・底上げを実現しよう」のスローガンで『26国民春闘方針案』を提案し、13人の発言討論を受けて採択しました。自治労連から3人が発言。《西予医療介護

労組・河野さん》昨年4月の市立病院介護施設の民営化後の組合の改善と地域の医療介護を守るためのとりくみ。（県本部・力石さん）《会計年度職員給与改善、宇和島病院労組の会計年度職員の改善、西予市の財政危機による職員給与カット提案の押し返し。《松山市職労・山内さん》現業正規職員の新規採用を組合の様々なとりくみで3年連続で実現。高齢職員・再任用者の給与改善を実現。

おたより
ありがとう

■あつという間に今年度も終わりに近づいていきます。来年度はもう少しじっくりと仕事に向き合いたいです。

（新居浜・鈴木）
■インフルエンザがたくさん出ているのがすごく気になります。マスク・手洗い・うがい、がんばっています。目に見えないものは怖いですね。
（今治・倉谷）



■先月、成人式のお手伝いですが、自分の年齢を考へてあらゆる行動を改めて必要を迫られました。
（今治・越智）



■今年度も楽しく読ませてくださいました。感謝です。来年度もよろしくお祈りします。異動内示がどうなるのか、ドキドキです。
（新居浜・大坪）

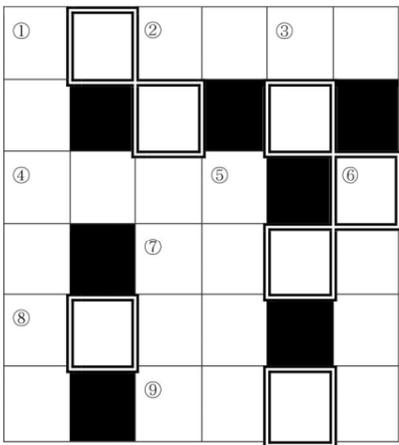
【ヨコのカギ】

- ①薄切り牛肉と玉ねぎをデミグラスソースで煮たものを、米飯の上にかけて料理
- ④そのものだけが持つ特長や性質
- ⑦TV番組「ボツンと〇〇〇家」
- ⑧湯を沸かすための器具。やかんなど
- ⑨勢いよく突き破る。耳を〇〇〇悲鳴

【タテのカギ】

- ①1924年発行の口語詩集。「永訣の朝」など
- ②進学や就職、転勤などで、新しい環境に身を置く
- ③（英語）模倣、偽物=〇〇テーション
- ⑤進んだり退いたり。〇〇〇一退
- ⑥個人としてのその人の人間性。

優れた〇〇〇〇者



出題者 堀川孝行

マス目を埋め、二重枠の7文字で作家にして下さい。

■587号のパズルの答えは「イノウエヨウスイ」（井上陽水）でした。正解は6通でした。正解者のなかから5人の方に図書カードを進呈いたします。（敬称略）

井上 裕也（西予）
藤代 大樹（西予）
大坪 徹也（新居浜）
倉谷 剛志（今治）
西原 紀子（新居浜）

【応募方法】パズルの解答、氏名、住所、単組名を忘れずに。また、余白に紙面の感想、職場や家庭での出来事などをお書きください。正解者のなかから5人の方に図書カードを進呈いたします。
【送り先】自治労連愛媛県本部パズル係 〒790-0003 松山市三番町8丁目10-2 (FAX、メールも可) 1面題字下に記載
【締切り】3月27日【発表】591号（4月号）